学校番号	3018

令和2年度　　公民　　科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	（ 1 ）単位	年次	（ 2 ）年次
使用教科書	現代社会（数研出版）						
副教材等	テオーリア　最新倫理資料集 新版二訂（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2年次の現代社会では、倫理分野を中心に学習します。「倫理」の「倫」とは「なかま」の意であり、人間関係やその関係内の人々のことを示し、「理」とは「ことわり」「すじみち」などの意であり、よって「倫理」とは「人間および人間関係における在り方」と定義されます。したがって、「倫理」という科目の究極のねらいは、「人間とは何か」「人間としていかに生きるべきか」という課題の探究と、自身の世界観・人生観の形成ということになりますが、決して堅苦しいイメージを持たず、先哲の思想や諸学説をヒントにクラス内での相互的なやりとりなどを通して、ともに複雑化する現代社会において私たちはどのように生きていくべきか、ということを一緒に考えていきたいと思います。

2　学習の到達目標

・人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基き、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解を深めさせる。
・人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
・先人たちの哲学や思想に触れ、これらを踏まえた上で、現代社会の諸問題について多面的・多角的に考察することのできる実践的能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成について関心を高め、人格の形成と他者と共に生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに、これらに関わる諸課題を探究する態度を身に付け、人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	他者と共に生きる主体としての自己の確立について広く課題を見出し、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探究するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、これらを他者と共に生きる主体としての自己の確立に資するよう活用している。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関わる基本的な事柄を、他者と共に生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格形成に生かす知識として身に付けている。
評価方法	ワークシート・ノートの提出 学習状況の観察	定期考査の結果 ワークシート・ノートの提出 学習状況の観察(特に授業時における問題提議・課題に対する考察)	定期考査の結果 ワークシート・ノートの提出 学習状況の観察	定期考査の結果 ワークシート・ノートの提出 学習状況の観察（特に練習課題等への取り組み）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	現代の諸課題と倫理	・生命倫理 ・環境倫理 ・情報化社会 ・国際化社会		○ ○		○ ○	a:現代の諸事象における倫理的課題から、関心のある問題を積極的に選択し、自己の課題とつなげて意欲的に追究している。現代に生きる人間としての在り方生き方について考え、倫理的諸課題に進んで取り組もうとしている。 b:自然と人間とのかかわり（生命倫理、環境倫理）、社会生活と自己とのかかわり（家族・社会、情報化）、国際社会と自己とのかかわり（異文化理解、国際平和）などの視点から、現代の倫理的諸課題を、自己の課題とつなげて多面的・多角的に考察し、現代に生きる人間としての自己の在り方生き方について広い視野に立って主体的かつ公正に判断している。また、課題を追究し考察した過程や結果を、レポートにまとめ、発表や討論などを通して適切に表現している。 c:現代の倫理的諸課題に関する諸資料をインターネットなどの様々なメディアを通して収集し、自己の課題とつなげて追究する学習に役立つ情報を主体的かつ適切に選択して活用している。 d:今日の生命倫理または環境倫理の問題について、家族や地域社会の在り方または情報社会の在り方について、異文化の尊重または国際平和について、それぞれ現代に生きる人間としての在り方生き方にかかわる諸課題を、自己の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。	定期考査の結果 ワークシート・ノートの提出 学習状況の観察
前期期末	青年期	・人間の特質 ・青年期の特徴 ・社会への参加と生きがい	○ ○ ○	○		○	a:青年期の意義と課題に対する関心を高め、それを意欲的に探究し、他者と共に生きる自己の生き方について考えようとしている。 b:自らの体験や悩みを振り返ることから課題を見いだし、それに基づいて青年期の意義と課題を多面的・多角的に考察し、豊かな自己形成に向けて探究するとともに、他者と共に生きる自己の生き方について広い視野に立って主体的かつ公正に判断している。また、課題を追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c:自らの体験や悩みを踏まえて、青年期の意義と課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、豊かな自己形成に向けた学習に役立つ情報を主体的かつ適切に選択して活用している。 d:青年期の不安や性格適性に関する悩みなどが、生きる主体としての自己確立の過程に共通する問題であり、人生観、世界観、価値観の形成が必要であることを理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。	定期考査の結果 ワークシート・ノートの提出 学習状況の観察
後期中間	源流の思想	・ギリシア思想 ・キリスト教	○	○ ○	○		a:現代の諸事象における倫理的課題から、関心のある問題を積極的に選択し、自己の課題とつなげて意欲的に追究している。現代に生きる人間としての在り方生き方について考え、倫理的諸課題に進んで取り組もうとしている。 b:自然と人間とのかかわり（生命倫理、環境倫理）、社会生活と自己とのかかわり（家族・社会、情報化）、国際社会と自己とのかかわり（異文化理解、国際平和）などの視点から、現代の倫理的諸課題を、自己の課題とつなげて多面的・多角的に考察し、現代に生きる人間としての自己の在り方生き方について広い視野に立って主体的かつ公正に判断している。また、課題を追究し考察した過程や結果を、レポートにまとめ、発表や討論などを通して適切に表現している。 c:現代の倫理的諸課題に関する諸資料をインターネットなどの様々なメディアを通して収集し、自己の課題とつなげて追究する学習に役立つ情報を主体的かつ適切に選択して活用している。 d:今日の生命倫理または環境倫理の問題について、家族や地域社会の在り方または情報社会の在り方について、異文化の尊重または国際平和について、それぞれ現代に生きる人間としての在り方生き方にかかわる諸課題を、自己の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けている。	定期考査の結果 ワークシート・ノートの提出 学習状況の観察
後期期末		・イスラーム ・仏教		○ ○	○	○		

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。